



発行 板橋区議会事務局
〒173-8501
東京都板橋区板橋2-66-1
☎ 3579-2704 FAX 3579-2780
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kugikai/

第8回板橋区

議会報告会

初の区役所開催!! より身近に。より開かれた議会へ。
区民の皆さまに、議会の活動をご報告します。
当日の様子は、インターネットでも中継します。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

日時 5月17日(月)

午後6時30分から午後7時30分(午後6時受付開始)

会場 板橋区役所11階 第1委員会室

参加方法

4月26日(月)から5月13日(木)までに、電話またはメールでお申し込みください。定員(50名)になり次第、受付を終了させていただきます。

電話：03-3579-2704 (午前9時から午後5時。土日祝日を除く)

メール：g-chosa@city.itabashi.tokyo.jp

※新型コロナウイルスの感染状況などにより、会場開催を中止する場合があります。



令和3年第1回定例会 (2月15日～3月23日)

令和3年度一般会計予算及び4特別会計予算を可決

主な掲載内容

	施政方針に対する 代表質問 (要旨)	2 }
		3
	令和3年度予算に対する 総括質問(要旨)、討論(要旨)	4 }
		5
	令和2年度 補正予算に対する 総括質問 (要旨)	6
	議案・陳情 の審議結果	6
	一般質問 (要旨)	7 }
	区政全般に対して 行われた質問を紹介	8
	議会トピックス	8

- 定例会では、区政の各分野における課題について、7名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました(要旨を7～8面に掲載)。
- 令和3年度予算や、令和2年度補正予算など区長提出議案30件を可決し、議員提出議案は2件を可決、2件を否決しました(審議結果及び補正予算に対する総括質問の要旨は6面に掲載)。
- 陳情は1件を採択、5件を不採択とし、その他は継続審査としました(詳細は6面に掲載)。
- 区長から提出された教育委員会委員の任命に同意し、人権擁護委員候補者の推薦に適任との意見を付しました。

令和3年度予算の審議状況

- 本会議3日目(3月2日)に予算案が提出され、区長が施政方針の説明を行いました。これを受け、本会議4日目(3月5日)に、各会派が区長の施政方針に対する代表質問を行いました(要旨は2～3面に掲載)。
- 区議会では、全議員により構成する「予算審査特別委員会」において、のべ6日間にわたり集中的に審議を行いました(予算に対する総括質問の要旨は4面に掲載)。
- 本会議最終日(3月23日)に、予算審査特別委員長が審査結果を報告し、各会派による討論を経て、令和3年度予算を賛成多数で可決しました(討論の要旨は5面に掲載)。



○板橋区議会ホームページでは、本会議のインターネット生中継や録画中継がご覧いただけます。
○本会議や委員会の次第、配付資料は、ホームページに掲載しています。

板橋区議会 Q検索



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

代表質問

3月5日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆代表質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が代表質問をしている動画にアクセスできます。



田中しゅんすけ

(自民党)



安定した区財政のために

【質 問】景気変動に左右されない財源の確保及び財政の基盤づくりが最も重要であると考えますが、見解は。

【区 長】歳入の基幹である特別区交付金は景気変動に大きく左右され、財政運営に大きな影響を与えている。今後とも、財政環境の変動時においても、安定した財政運営を行える強固な財政基盤の構築をめざしていく。

ブランド戦略による発展を

【質 問】3年度にリニューアルオープンする(仮称)植村直己スポーツセンターなどの特徴ある施設を核として施設展開をエリアで進めていくという考え方が重要。「住みたいまち」として選ばれる板橋をめざす取り組みをすべきと考えますが、ブランド戦略を含め、区の見解は。

【区 長】ポストコロナを見据え、今まで以上に選ばれるまちをめざすため、ブランド戦略が必要と考えている。区への愛着と誇りを高め、交流



植村冒険館内観イメージ

とにぎわいを創出し、区の持続的な発展に向けて重点的に取り組んでいく。

窓口業務のデジタル化を問う

【質 問】コロナ禍によって行政のデジタル化に係る課題が浮き彫りになった。区はデジタルトランスフォーメーション(DX)を重点戦略に掲げたが、対面による窓口対応についての認識を伺う。

【区 長】窓口での「もてなしの心」による区民サービスの提供を大切にしながら、区民が可能な限り来庁せずに手続きができるよう、利便性の向上のための改革も推進していく。

新型コロナウイルス感染症対策の充実を

【質 問】打撃を受け続けてきた飲食業・商店や関連事業者への支援が急務。支援をどのように考えているか。

【区 長】都の時短要請に協力した事業者への支援として、板橋区感染拡大防止協力を補正予算に計上した。今後、制度の詳細を決定し、3年度も引き続き対応していく。

【質 問】商店街や地域の個店におけるキャッシュレス決済ポイント還元事業の再運用など、きめ細かく即効性のある支援策を講じるべき。

【区 長】2年度に実施したキャッシュレス決済ポイント還元事業は、幅広い業種への支援や消費の循環に寄与した。今後、都の補正予算案で計上された生活応援事業の活用を視野に、デジタル技術を活用した支援事業を検討する。

ワクチン接種について問う

【質 問】新型コロナウイルスワクチンの接種については、区民へのわかりやすい広報や電話などによる相談体制を充実させるべき。

【区 長】3年3月からコールセンターを開設し、ワクチン接種に関する相談に対応している。また、3月下旬には、広報いたばし特集号を全戸配布し、区民に最新の情報を発信する。

医療機関との連携強化を

【質 問】新型コロナウイルス感染症対策において、日々刻々と移り変わる医療現場の課題に対し、時宜を得た支援策が講じられるよう区医師会をはじめ、感染症対応医療機関と緊密に情報連携すべき。

【区 長】感染症の発生当初から、区医師会及び区内医療機関と連携し、対策を進めてきた。状況の変化に応じ、随時オンライン会議などで情報交換や課題の共有を図り、区独自の事業も構築してきた。今後も情報連携に努め、必要対策を講じる。

医療従事者への支援と対策を

【質 問】感染症対応に従事している医師・看護師・職員に対する差別や誹謗中傷は許されるものではない。区として差別への対応をすべき。

【区 長】差別・偏見や個人を特定しようとする行為につながるような情報、情報の出し方に留意している。今後も広報紙やホームページ、チラシなどで周知・啓発に努める。

今こそ連携拠点の整備を

【質 問】新型コロナウイルス拡大の中で、感染者の入院調整や介護施設との連携、在宅者のケアなど、医療・介護・福祉の連携が重要な課題であることが明らかになった。

【区 長】在宅医療センター療養相談室や地域包括支援センターなどを中心に、地域における医療・介護・福祉の連携に努めているが、今後、拠点機能のあり方を含め検討していく。

福祉園の民営化に関する考え方を問う

【質 問】セーフティネットの使命を厳守する姿勢で、今までと同様に利用者や事業者とコミュニケーションを図りながら、丁寧に進めるべき。

【区 長】これまで福祉園が担ってきたセーフティネットの使命・役割を果たしていく

ことが何より求められている。引き続き、利用者や運営法人とコミュニケーションを取りながら、丁寧に進めていく。

GIGAスクール構想における課題を問う

【質 問】1人1台のタブレット端末環境への対応や、教員のICTスキル不足、児童・生徒の情報リテラシーの向上、保護者の理解と協力などの課題について、見解は。

【教育長】小学校低学年では、タブレット端末の重さが課題であり、毎日持ち運ぶ教科書などの取捨選択の検討が必要と認識。また、インターネット環境がない家庭もあることから、家庭外でもオンライン学習ができるよう環境整備を推進する必要がある。

いじめへの対策を求めて

【質 問】増え続けるいじめの認知件数に対して、即応性のある早急な対応をすべき。

【教育長】各学校では、アンケート調査や第5・第7学年のスクールカウンセラーとの全員面接などにより早期発見に努めている。今後も、保護者や地域住民、関係機関と緊密に連携し、早期発見・早期対応に努めていく。

これからの災害対策を問う

【質 問】水害時の避難方法として、高い建物を利用した垂直避難も有効と考える。想定し得る最大規模の荒川の浸水被害が発生した場合、垂直避難の課題や必要な準備は。

【区 長】多くの方が垂直避難を選択した場合、救助活動は困難を極め、命に危険が及ぶ可能性が高い点が課題。垂直避難の際には、居住地域の浸水継続時間以上の家庭内備

蓄が必要となるため、3年7月に全戸配布するいたばしくらしガイドでも周知を図る。

災害ボランティアの集積拠点の整備を求めて

【質 問】ボランティアの集積拠点として、交通の利便性が高い板橋駅前広場の活用を検討すべき。

【区 長】現時点では、災害ボランティアや支援物資の拠点は小豆沢体育館を想定している。拠点には、区内外からの交通便利性の観点も必要であり、効果的・効率的な設置場所について改めて検討する。

国とのさらなる連携を求めて

【質 問】駅前広場の照明やベンチ、サインなどの設備は、今後、設計の段階で必要性や配置を具体的に検討することとなる。太陽光発電施設は、災害時や日常においても電源として有効であり、費用対効果を含め、設置について検討していく。

【区 長】国が決定した補助金や助成金について、区が交付事務を行う場合、対象団体



かいべとも子

(公明党)



新型コロナウイルス対策の充実を

【質 問】介護保険における訪問・通所型事業所の従事者に対するワクチン接種の優先順位を、入所施設従事者と同等にすべき。

【区 長】接種順位は全国一律の基準として国が定めている。今後、国に要望を上げるかを含め検討課題とする。

【質 問】妊産婦への支援として、ワクチンの接種期間や感染が収束するまでの期間限

や区民にどのように展開していくのか。周知方法や一連の流れを明確にすべき。

【区 長】国が新たな補助金制度を創設した場合には、内容に基づき交付対象者への周知を行う。交付先が団体に限定される場合には、直接メールなどにより情報提供を行う一方、区民・事業者に対しては、広報いたばしやホームページを基本とし、必要に応じ個別周知を行う。

【質 問】地方税財源の確保や新たな政策は、勧告による国主導の発案型から、個々の自治体からの提案型へ変革していくことで国との連携を深め、安定した区政運営につながるかと考えるが、見解は。

【区 長】地方税財源の確保は、特別区全体の課題として協力しながら解決に取り組んでいく。また、新たな政策についても、適宜、予算要望などを通じて、国との連携に努めていく。

定で、オンラインによる医療・健康相談を導入すべき。

【区 長】オンラインによる医療・健康相談は有効なものと認識。先行事例などを参考に、今後検討していく。

財源確保と区民への還元を

【質 問】厳しい財政運営をどのように区民へ説明し理解を得るか。また、どのように財源を確保し還元していくか。

【区 長】広報いたばしをはじめ、あらゆる機会を捉え説明していく。既存事業の見直しや資産の活用などにより財源を確保し、区民サービスの質の向上を図っていく。

福祉園の民営化について問う

【質 問】事業者が破綻・撤退した場合の対応方法は。

【区 長】撤退が生じないよう制度設計を行い、運営状況をきめ細かく把握することを第一に考えている。そのうえで、撤退した場合を想定し、新たな事業者への引き継ぎなど、必要な取り決めを行い、運営を継続する体制を整えていく。

【質 問】「世界自閉症啓発デー」に発達障がい者支援センターなどをブルーデコレーションし、発達障がいなどの理解を深める機会を作るべき。

【区 長】発達障がい者支援センターで啓発活動を行う予定。ホームページでもシンボルカラーの青をモチーフとした専用ページを作成し、一層の理解を呼び掛ける。

(2面から続く)

子育て支援の拡充を求めて

【質 問】産後も安心して子育てできる支援体制を確保するため、都が2年度から実施している産後ドゥーラ事業を区でも導入すべき。見解は。

【区 長】いたばし版ネウボラの拡充につながる事業であり、先進事例などを参考に検討していく。

【質 問】区の男性職員の育児休業取得推進に向けた、課題と対策は。

【区 長】休業中の業務体制の確保などが課題と認識。職員向け情報誌で男性の育児参加を推進する職場を紹介するなど、機運醸成を図っていく。

【質 問】子どもたちの学力を向上させるうえで、「読み解く力」の育成は、今後どのように展開していくのか。

【教育長】3年度に区独自の小中一貫教育カリキュラムの一つとしてまとめる予定。開発重点校の授業研究に加え、教科等指導専門官による授業公開などにより、板橋メソッドを開発し、普及させていく。

【質 問】不登校対策として、フレンドセンターの機能充実とともに、指導体制・組織体制の充実が重要。区の見解は。

【教育長】不登校対応ガイドラインを作成し、学校の体制の充実を図っている。今後フレンドセンターの機能や学校の指導体制・組織体制の一層の充実を図り、児童・生徒の個々の状況に応じたきめ細かな支援策を講じていく。

【質 問】学校プールにおける民間活用について、過去の一般質問にて導入を提案したが、その後の研究の成果は。

【区 長】感染流行時における避難所体制マニュアルの早急な作成を求めたが、進捗状況は。

【区 長】感染防止策を盛り込んだマニュアルを改訂済み

絵本のまちなちの魅力を発信

【質 問】東武東上線板上板橋駅から新中央図書館までの道のりを「絵本のまちなちロード」として、「絵本のまちなち板橋」の可視化・発信をしては。

【区 長】開館に向け、地域の商店街の協力により、同地区を彩る取組みを進めている。今後、可視化の方法について様々な可能性を検討していく。



新中央図書館の児童コーナーの「えほんの森」

【質 問】印刷業が盛んな特徴をいかし、区民が創り、区民が選ぶ絵本コンクールを開催し、優秀作品を出版しては。

【区 長】区内印刷・製本企業の協力により、中学生向け絵本づくりワークショップを実施している。今後、事業を充実させていく中で、絵本コンクールの開催や創作絵本の出版の可能性を検討していく。

防災対策について問う

【質 問】感染症流行時における避難所体制マニュアルの早急な作成を求めたが、進捗状況は。

【区 長】感染防止策を盛り込んだマニュアルを改訂済み



小林おとみ (共産党)



3年度予算の重点施策を問う

【質 問】新型コロナウイルス感染症拡大は社会的弱者に最も厳しく影響しており、貧困格差対策、経済的支援が予算編成方針の柱に据えられていないことは問題。セーフティネット機能の強化を位置付けるべき。

【区 長】重点戦略においても区民の生命と健康、財産を守る第一であり、コロナ対策やSDGs戦略により、セーフティネット機能の充実に取り組み。

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

【質 問】2年度に行なった様々な生活支援策を検証し、

検査の対象にすべき。 【区 長】国の事務連絡により、高齢者や障がい者に関わる方に、自治体が独自検査を実施できるとされた。都の計画を踏まえ、事業形態に関わらず、検査の実施を検討する。

【質 問】保育園職員などが定期的にPCR検査を受けられるようにするとともに、感染した場合に安心して休める休暇体制を保障すべき。

【区 長】検査精度の問題などにより、定期的な検査の実施は考えていない。長期療養などに備えた体制の確保は、各保育施設へ要請している。

【質 問】飲食店以外の中小業者の収入減にも直接支援が必要。家賃に加え、リース代などへの助成も実施すべき。

【区 長】時短営業などにより影響を受けた飲食店関連事業者へ支援する予定だが、リース代などを含めた家賃助成を実施する予定はない。

【質 問】国の計画で示された、常勤保育士1人の代わりに短時間保育士2人の配置でも可とする規制緩和を、区として行わないようにすべき。

【区 長】安定的な保育のためには常勤保育士の配置が望ましいことから、配置については慎重に検討する。

【質 問】区立福祉園のサービスマン水準を低下させないよう、民営化を行わず、現行の体制のまま区が運営すべき。

【区 長】福祉園民営化は経費の効率化を図り、持続可能なサービスマンを提供するものである。民営化方針の検討の中でサービスマン水準を維持するための方策を取りまとめるべき。

【質 問】いこいの家を廃止せず、誰もが気軽に立ち寄れる地域の居場所とすべき。

【区 長】いこいの家の活用を最終案策定に向けて検討している。元気な高齢者の活動場所のすそ野を広げ、健康長寿のまちづくりを推進する。

【質 問】温室効果ガス排出ゼロに向けて、原発ゼロに取組むべきと考えるが、見解は。

【区 長】エネルギー政策は国の所管であり、電源構成に係る原子力への依存度などは様々な議論を経て国が示すものとする。

【質 問】従来の「新エネルギー」及び省エネルギー機器等導入補助金を継続すべき。

【区 長】省エネ意識の醸成や一部の機器の普及、低価格化により、所期の目的は一定程度達成されたと捉えている。

【質 問】大山など4つの地域における、タワーマンション頼みの再開発はやるべきか。

【区 長】適切に高度利用や土地利用を誘導し、地域の特



高沢一基 (民主クラブ)



コロナ禍を乗り越えるために

【質 問】医療機関の負担に配慮しつつ、現役世代に対してもワクチンの集団接種や夜間・休日の接種を実施すべき。

【区 長】PCRセンターの運営を見直し、医療機関と協議を重ね、多くの方が利用しやすい体制の構築に努める。

【質 問】ワクチン接種を促進するため、ワクチンの効果や副反応について、積極的な広報を実施すべき。

【区 長】情報を速やかに周知することで懸念の軽減につなげ、接種を選んでもらえるように努めていく。

【質 問】使用頻度の高い施設を優先するなど、早期に計画的な導入をすべき。

【区 長】LED照明の計画的な導入を進めていく。

【質 問】新たに設置されるまちづくり推進室が司令塔となり、各地区の再開発について積極的に行動することを求めるが、見解は。

【区 長】同室を中心に、組織横断的な施策展開によって、地域住民とともに、各地区のまちづくりを進めていく。

【質 問】区立保育園での休日保育を早期に実施すべき。

【区 長】休日保育に対するニーズが一定数あることは認識している。引き続き、体制の整備や経費などの課題解決に向けた検討を進める。

【質 問】ワクチン接種の結果が表れ、人々の行動制限が緩和された折には、積極的な財政出動で経済対策を進めるべき。

【区 長】3年度予算においても新たな経済対策を盛り込み、引き続き重点的に対処していく考えである。必要となる対策に機動的に取り組み。

【質 問】コロナ禍で苦しみ悩んでいる区民の命を救うため、今こそ自殺対策の専門部署を設置すべき。

【区 長】自殺防止対策を進めるためには、事務局機能の強化が重要であることから、今後の体制について検討していく。



【質 問】「いたばし魅力ある学校づくりプラン」を、少人数学級の導入を前提とした計画に作り変えるべき。

【教育長】小学校への35人学級の導入は、前期計画を改定するまでもなく、計画的に取り組むものとする。6年度の後期計画策定にあたり、中学校への35人学級導入に関する国の動向も踏まえ検討する。

【質 問】区では、教員の変形労働時間制の導入を行わないよう求めるが、見解は。

【教育長】制度の運用に際しては学校ごとに条件整備が必要となる。一律的な導入については妥当性を欠く点もあり、慎重な検討が必要と考える。

【区 長】休日保育に対するニーズが一定数あることは認識している。引き続き、体制の整備や経費などの課題解決に向けた検討を進める。

【質 問】ワクチン接種の結果が表れ、人々の行動制限が緩和された折には、積極的な財政出動で経済対策を進めるべき。

【区 長】3年度予算においても新たな経済対策を盛り込み、引き続き重点的に対処していく考えである。必要となる対策に機動的に取り組み。

【質 問】コロナ禍で苦しみ悩んでいる区民の命を救うため、今こそ自殺対策の専門部署を設置すべき。

【区 長】自殺防止対策を進めるためには、事務局機能の強化が重要であることから、今後の体制について検討していく。

【質 問】使用頻度の高い施設を優先するなど、早期に計画的な導入をすべき。

【区 長】LED照明の計画的な導入を進めていく。

【質 問】新たに設置されるまちづくり推進室が司令塔となり、各地区の再開発について積極的に行動することを求めるが、見解は。

【区 長】同室を中心に、組織横断的な施策展開によって、地域住民とともに、各地区のまちづくりを進めていく。

【質 問】区立保育園での休日保育を早期に実施すべき。

【区 長】休日保育に対するニーズが一定数あることは認識している。引き続き、体制の整備や経費などの課題解決に向けた検討を進める。

令和3年度予算に 対する総括質問(要旨)

3月16日~18日
予算審査
特別委員会

◆答弁者は各部長です。
◆総括質問の全文(会議録)は、5月下旬に
ホームページに掲載します。

坂本あずまお (自民党)

情報を基軸とした区政運営を

問 データ資本主義が広がっていく時代の中で、情報を政策のツールとして活用すべきか。

答 データ活用とタイムリーでわかりやすい情報発信に取り組みつつ、デジタル化・オンライン化を加速させていく。

ブランド戦略の強化を求めて

問 ブランド戦略は、重点戦略として機能するのか。自己評価と外部評価が違わないよう、愛着と誇りを高めていく必要がある。重点戦略の一つに定めた。試行錯誤しながら展開し、評価を一致させていく。

区施設の仕様の標準化を問う

問 こども動物園に、高価な照明が使われているが、区施設を整備する際の仕様標準は、2年度までに施設全般の標準仕様を定めている。この標準仕様を各部署と共有し、施設整備に活用する。

区民の声を聴く取組みを

問 広聴活動経費が他区と比較して極端に少ない。区民の声を聴く取組みを拡充すべきか。

中村とらあき (自民党)

卒園後の支援を求めて

問 児童養護施設に入所している児童は、措置延長を除き、18歳で退所となる。児童相談所設置後の支援のあり方は、退所前の17歳の時点で方向性を決定する仕組みづくりを検討していく。

上板橋一中の改築計画を問う

問 計画が延伸され、コロナ禍の状況で計画どおりに進むか地域は不安である。影響は、3年度から学校関係者や地域の方と丁寧な協議を重ね、基本構想・計画の策定など、着実に改築を進めていく。

新中央図書館との結びつきを

問 隣接する上板橋三中や、他区と遜色なく広聴活動を実施していると考えている。他区の優れた取組みを参考に、広聴活動の充実を図る。

住みよくなるまちをめざして

問 板橋区は犯罪件数が比較的多いと言われる。一「一番住みよくなるまち」の大きな支障となるが、犯罪発生件数を

成島ゆかり (公明党)

移動困難者への接種を問う

問 訪問診療を受けておらず、接種会場に行くことが困難な在宅要介護者などへの対応は、訪問で接種できる医療機関を調整し、対応していく。

不妊・不育症への支援を問う

問 グリーフケアを含めた不育症の相談体制を構築するとともに、里親などの多様な選択肢の情報提供を実施すべきか。

不育症の相談ができること

問 不育症の相談ができることとの周知から始め、関係機関と連携し研究する。情報提供についても、必要な支援を案内できるように推進するか。

旧館時代から関係のある

問 常盤台地域の学校や施設、団体などの関係もさらに深め、新しい価値の創造を地域とともに進めていく。

田中いさお (公明党)

新型コロナウイルスを問う

問 土日及び平日夜間の接種の実施を求める。見解は、十分なワクチンが供給されるようになった場合は、日時を選べる個別接種を主として、土日や夜間も含め、区医師会と協議していく。

接種会場での人材確保策

問 区医師会や医療機関との連携を強化していく。

フレイル予防事業に参加ポイ

問 シニア世代の社会参加をさらに促すため、参加ポイント制度を導入しては、導入している自治体の事例を参考に、地域特性をいかした制度の検討を進めていく。

避難行動要支援者の個別支援

問 福祉専門職と協働し、個別計画の作成を推進すべきか。今後の検討委員会において、福祉専門職による平常時の計画作成に加え、災害時の計画を作成する体制の整備など、課題の整理に精力的に努めていく。

図書館1階のエントラン

問 図書館1階のエントランを設置できるスペースがあるため、障がい者の活躍の場としての出店などを検討する。

東武鉄道と連携を図り、

問 各駅のホームドア設置の早期実現を求める。見解は、No.1実現プラン2025の中で、東武鉄道と協議を行うことを明確にした。今後、国や都の支援を受けながら、早期実現に向けて取り組む。

石川すみえ (共産党)

若年層の女性支援を求めて

問 10代・20代や、経済的支援が必要な女性などの望ましい妊娠に対する区の認識は、性暴力などによる思いがけない妊娠の相談が増加していることは認識。予防啓発や適切な相談窓口へつなぐための周知の強化が重要と考える。

区立小・中学校のトイレ

問 区立小・中学校のトイレに、生理用ナプキンの常備を。トイレへの常備は、衛生面の課題もあり考えていない。各家庭から持参させるなどの対応や緊急時の保健室での対応について、周知を図る。

区立保育園で医療的ケア

問 区立保育園で医療的ケア児の対応を行う看護師は、なぜ会計年度任用職員なのか。2園とも従前より看護師

竹内 愛 (共産党)

UR高島平団地を問う

問 共益費が引き上げられる予定だが、住民の共益費や家賃への負担感に対する認識は、UR都市機構が適正に対応しているものと考えている。

職員の働き方改革を問う

問 職員定数を増やさず目標を達成することは困難では、組織的な協力や支援を重視し、目標達成に取り組む。

壁にならない生活保護行政を

問 生活保護申請時に行う扶養照会が義務ではないことを、申請者に説明しているのか。

扶養照会の必要性や趣旨

問 申請書類である調査の同意書などにも、扶養照会が義務ではないことを明記している。ということを示している。

申請書類である調査の同

問 申請書類である調査の同意書などにも、扶養照会が義務ではないことを明記している。ということを示している。

生活保護法施行細則準則

問 生活保護法施行細則準則の標準様式のため、文言の修正は考えていない。扶養照会の趣旨は丁寧に説明している。

志村小・志村四中の小中一貫

問 説明会開催により、区民の理解が得られたと考えるか。

説明会の意図は、様々な

意見を伺い学校整備にいかすことである。丁寧に説明し、理解が得られるよう努める。

配置されており、連携をと

問 ながら医療的ケア児の対応ができるため、会計年度任用職員とした。

保護者が求職中の場合な

問 どの一時的な理由でも、さらにタイムを利用できるようにすべき。

個別の事情を認定し、一

時的な利用を承認することは、現在考えていない。

渡辺よしてる (民主クラブ)

子育てしやすい環境づくりを

問 父親の育児参加が重要であると考えるが、区ではどのような支援をしているか。

新型コロナウイルス感染症

問 新型コロナウイルス感染症の流行により、両親学級は休止している。今後、オンライン開催や動画配信などの新たな手法を検討していく。

父親向けに育児の基礎知

問 父親向けに育児の基礎知識を紹介している「いたばしPAPABOOK」をSNSでも配信しては。

ツイッターやインスタグ

問 ツイッターやインスタグラムで直接内容が見られるよう、直ちに対応する。

中妻じょうた (民主クラブ)

区の人口減少を問う

問 区の人口が減少に転じた現状をどう捉えているか。

コロナ禍による働き方の

問 コロナ禍による働き方の変容などによるものと考えられるが、一過性のものかどうか注視していく。

学校のICT化を問う

問 タブレットの持ち運びは負担が大きいため、教科書は学校に置いたままとしては。

子どもに負担がかからない

問 学校からのプリントをオンライン化するべき。

検討を進めていく。

井上温子 (無所属の会)

学校生活支援員の配置を問う

問 知的障がいの場合には配置できないとしたのは差別では、相談員の誤解であった。

誤解を招かないよう配置基準

問 の内規を改善していく。

重層的支援事業について問う

問 参加支援の担い手として地域福祉コーディネーターを地域交流拠点の現場に配置を。

拠点への配置は有意義な

問 視点。第3層の担い手の視点を大事に支援方法を検討する。

こんどう秀人 (無所属議員)

NHKの割増金制度を問う

問 区施設に設置・撤去した受信機の申告漏れはないか。

毎年、設置状況の調査を

問 行っている。受信料割増金制度を踏まえ、正確な台数の把握と、適正な契約に努める。

高山しんご (無所属議員)

老朽化した看板の管理を問う

問 管理が行き届いていないと考えるが、今後の対応は、区が恒久的に設置する看板は長持ちするものに改める。区以外の各機関にも対応を要請する。

経営安定化特別融資を問う

問 コロナ禍により影響を受けている中小企業者を支援する特別融資の融資期間や利子補給期間を延長できないか。

返済開始までの据置期間

問 を2年とする。ことで、事業の安定化を図るとともに、負担の大きい当初4年間について10割の利子補給を行う。

長瀬達也 (市民)

情報提供にLINEの活用を

問 新型コロナウイルス感染症の情報提供にLINEチャットボットを活用しては。

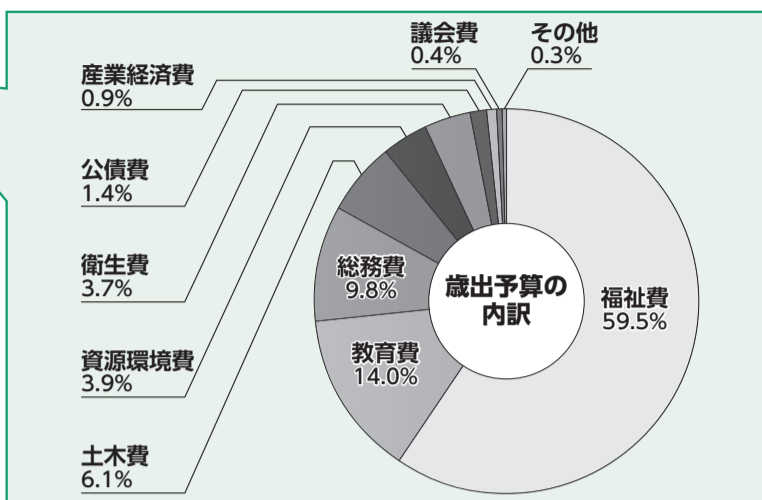
問 直ちに導入する予定はないが、今後の検討課題とする。

令和3年度 予算の概要と予算に対する討論(要旨)

一般会計 2,209億4,000万円 (0.4%減)

特別会計	国民健康保険事業	528億2,000万円	(3.9%減)
	介護保険事業	440億7,000万円	(0.6%増)
	後期高齢者医療事業	124億6,000万円	(1.9%増)
	東武東上線連続立体化事業	9,000万円	(26.2%減)

※カッコ内は対前年度比



共産党

賛成 予算修正動議
反対 一般会計、4特別会計

積極的な財政支出を行い 住民の暮らしに寄り添った区政を

- コロナ対策**として、PCRセンターを社会的検査のために活用し、医療機関などへの減収補てんを行うべき。また、最前線でコロナ対応にあたる予防対策課においては、**緊急対応のできる職員体制**の確保を。
- 深刻化する**女性の貧困問題**のため、さらなる相談体制の強化を。
- 学校の大規模化を生む**小中一貫校の建設**は、学校環境改善にも教職員の働き方改革にも逆行するため、計画を撤回すべき。
- 再開発関連経費**は、今後3年間で192億円を超える見込み。学校の施設整備などを先送りしてまで再開発を進める姿勢は問題である。
- 緊急財政対策**により財源が確保されたが、区民サービスの後退で生み出されたものである。財政調整基金を活用し区民生活を支えるべき。

公明党

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

激変する社会経済情勢に対応し 持続可能な区政運営の実現を

- 児童虐待の未然防止、早期発見、重篤化の防止**のため、子ども家庭支援センターの「子どもなんでも相談」、「児童虐待相談受付」を24時間365日受け付ける体制に整備したことを高く評価する。
- 中小企業の資金調達の円滑化**を図るため、経営安定化特別融資を創設し、利子補給を行うとともに、信用保証料を全額免除する予算措置について、高く評価する。
- 東武東上線ホームドアの早期設置**に向けて、調査費の予算措置と条例改正を視野に入れた基金の活用を求める。
- デジタル化を推進**するうえで、誰もがデジタル化の恩恵を最大限に受けられるよう、情報格差を生まない取組みを求める。

自民党

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

ポストコロナの社会・経済環境に沿った 新たな視点での区政経営を

- 公共施設の配置検討**は、エリアごとの検討結果を踏まえ、区全体を俯瞰する視点から、最適な集約・複合化を進めるべき。
- 新型コロナワクチン接種**は、区民にとって最適な方法を選択し、円滑に進めるとともに、医療機関に対し時宜にかなった支援を。
- DX戦略**については、区民からの申請の多い手続きについて、3年度の早い段階でオンライン化できるよう取り組むべき。
- 気候変動による水害への対策**が急務。区民に想定被害リスクを示し、早めの避難行動を促すような取組みを。
- (仮称) **子ども家庭総合支援センター**は、4年度の開設に向け、都との協議を重ね着実に進めていくことを求める。

民主クラブ

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

新型コロナ感染症の感染状況を見極めながら 積極的な経済対策を

- 感染症拡大防止**など危機管理体制の強化のため、**危機管理部を新設**することを高く評価する。また、ワクチン接種の円滑な実施を求める。
- 子育てや児童虐待に関する相談を24時間365日受付**する体制の整備により、児童虐待の未然防止や早期発見、重篤化の防止に期待する。
- 区立保育園での医療的ケア児の受入れ**を高く評価。障がいの有無に関わらず、希望するすべての子どもが保育を受けられることを望む。
- いたばし環境アクションポイント事業**では、区民・事業者・区それぞれが地球温暖化防止に配慮した取組みを実践していくことを評価。
- GIGAスクール構想の実現**に向け、タブレット端末の使用法や教員の指導体制などの課題解決を求める。

無所属の会

賛成 一般会計、予算修正動議
反対 4特別会計

課題となっている介護人材確保への積極的な予算措置と 地域住民の力をいかした新たなコミュニティ政策の推進を

- 医療的ケア児の受入れ保育**を2園で開始することを評価。家族の孤立を防ぐとともに、子どもの成長発達に良い刺激となることを期待。
- 高齢者のおむつ支給事業**について、カタログから紙おむつを選べる制度に変更することを高く評価する。
- 在宅介護**を支えるため、慢性的に不足しているヘルパーの確保が重要。資格取得への支援など、人材確保に向けた積極的な予算措置を。
- 断らない相談支援、参加支援、地域づくり支援**についての検討を進め、**共生型の交流拠点を地域保健福祉計画に位置付け、推進**を。
- まちづくり事業**は、行政や企業主導ではなく、地域住民との対話を大切に、ボトムアップのまちづくりを行うことを求める。

市民

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

ポストコロナに向け、DX(デジタル変革)と 経済対策に積極的な投資を

- DXの推進**を重点戦略としたことを評価する。コロナ禍でも行政サービスを低下させないよう、スピード感を持ち、積極的に推進すべき。
- 24時間の子どもなんでも相談や育児支援ヘルパーのオンライン申請**を評価。子育て世代に利用しやすいチャット相談の導入を求める。
- コロナ禍で「**望まない孤独**」が進んでいる。今までのように人が集まる地域活動ができない中で、新しい地域の交流についての研究を。
- 再開発偏重**ではなく、既にある人々の暮らしや風景に目を向けた、**自分の住むまちに誇りを持てるブランド戦略**を求める。
- コロナ禍による区内経済への打撃**は深刻。国や都の支援が行き届かない業種や個人に対し、区民生活に身近な区がきめ細かな支援を。

令和2年度補正予算に対する総括質問(要旨)

2月26日 予算審査特別委員会

◆答弁者は各部長です。◆総括質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。

茂野善之 (自民党)

未来を守る施設をめざして

問 児童相談所で預かる子どもと、子ども家庭支援センターに来る子どもの状況は異なるため配慮が必要では。

答 総合相談と専門相談、一時保護所に区分し、動線に分ける予定。秘密が守られるよう、施設面に加え、業務マニュアルでも配慮を重ねていく。

問 児童相談所の開設にあたり、職員の育成が重要では。

答 都や特別区の研修に加え、区独自の研修のさらなるレベルアップを図っていく。

問 商店街が解散する際に区道上に設置した街灯を取り外さないといけない理由は。

答 商店街の解散により、商店街の街灯について問う

しば佳代子 (公明党)

8度にわたる補正予算を問う

問 過去最大の規模となる8度の補正予算について見解は。

答 区民の生命と健康、財産を守るため、感染症対策や生活支援、中小企業支援など、時機を逃さず編成してきた。

問 コロナ禍における在宅介護者支援を求めています。

問 児童相談所で預かる子どもと、子ども家庭支援センターに来る子どもの状況は異なるため配慮が必要では。答 総合相談と専門相談、一時保護所に区分し、動線に分ける予定。秘密が守られるよう、施設面に加え、業務マニュアルでも配慮を重ねていく。問 児童相談所の開設にあたり、職員の育成が重要では。答 都や特別区の研修に加え、区独自の研修のさらなるレベルアップを図っていく。問 商店街が解散する際に区道上に設置した街灯を取り外さないといけない理由は。答 商店街の解散により、商店街の街灯について問う

山内えり (共産党)

保健所の体制強化を求めて

問 保健師の必要数が確保できないことについて、見解は。

答 保健所以外に配置する保健師ポストについて、事務職員員に異職種従事させるなどして、区全体で対応していく。

事業者への支援拡充を求めて

問 家賃以外の固定費も助成対象とし、対象期間も延長するなど支援の幅を広げるべきだったのでは。

答 負担の大きい家賃への助成を望む声が多く、期間は他自治体を参考に3か月とした。

高齢者の住宅支援を問う

問 賃料滞納や孤独死など貸手側のデメリットがあり、受入れできない例がある。課題を解消する手立てが必要では。

答 居住支援法人と連携した情報提供や、貸手向けのセミナー開催などにより、貸手の理解を促す取組を行う。

子どもの遊び場事業を問う

問 全校で実施できるように、指導員を拡充すべき。

答 3年度から部分的にシルバー人材センターに委託する形で、指導員の確保を図る。

院体制の構築を検討する。発達障がい者支援センターについて問う

問 初回相談が2か月待ちの状況について、区の見解は。

答 待機者に対し、申込み時に丁寧な聞き取りを行い、助言するほか、事業説明会の開催を通じ、初面接が効果的に行えるよう対応している。

問 学校や事業所でも支援が受けられるよう、専門家による巡回相談を実施すべき。

問 児童相談所で預かる子どもと、子ども家庭支援センターに来る子どもの状況は異なるため配慮が必要では。答 総合相談と専門相談、一時保護所に区分し、動線に分ける予定。秘密が守られるよう、施設面に加え、業務マニュアルでも配慮を重ねていく。問 児童相談所の開設にあたり、職員の育成が重要では。答 都や特別区の研修に加え、区独自の研修のさらなるレベルアップを図っていく。問 商店街が解散する際に区道上に設置した街灯を取り外さないといけない理由は。答 商店街の解散により、商店街の街灯について問う

五十嵐やす子 (市民)

避難所の長期活用を問う

問 大規模水害時において、高台にあり、学校再開の影響を受けにくい旧板橋九小を長期的に開設する避難所としては。

答 有力な候補になり得ると考えるが、環境のより良い施設を選定する観点も必要。柔軟な選択を行えるよう努める。

しいなひろみ (無所属の会)

避難所備品に車いすの配備を問う

問 車いすや哺乳瓶専用ブラシと消毒液、女性用下着ライナーなど福祉視点での配備を。

答 避難者のニーズをすべて満たすことは困難であり、家庭内備蓄を呼び掛けている。

こんどう秀人 (無所属議員)

子どもの決済トラブルを問う

問 ネット決済のトラブルを避けるための対策を。

答 決済方法の特性やリスクをわかりやすく発信していく。

高山しんご (無所属議員)

マイナンバーカードを問う

問 申請から交付までの待機時間と、短縮の可能性は。

答 1か月半程度かかる。事務処理を工夫し短縮に努める。

問 学校の指導とルールづくりを。健康対策を進めていく。卒業生の思い出づくりのため、タブレットの活用を。

答 より充実したものになるよう学校を支援していく。

第1回定例会の審議結果

◆議案の内容や議員ごとの態度はホームページに掲載しています。◆会議録は5月下旬に区議会ホームページや区議会事務局、図書館、区政資料室で閲覧できます。

■全会一致となった議案・陳情と審議結果

Table with 2 columns: 件名, 結果. Includes items like '令和2年度一般会計補正予算(第8号)' and '職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例'.

Table with 2 columns: 件名, 結果. Includes items like '板橋こども動物園における複合施設棟等の草屋根土砂流出事故に係る和解について' and '区議会会議規則の一部を改正する規則'.

■意見が異なった議案・陳情に対する各会派の態度

○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席

Large table with columns for 件名, 会派名など(所属議員数), and 結果. Lists various budget and ordinance items and the stance of different parties.

【令和3年第1回定例会で付託され継続審査となった陳情】インクルーシブな社会の実現に向けた福祉に関する陳情/インクルーシブな社会の実現に向けた子育て・教育に関する陳情

一般質問

2月15日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



鈴木こうすけ

(公明党)



新型コロナ対策について問う

【質 問】2度目の緊急事態宣言により、経営状況が悪化している飲食店に対し、都の時短営業協力金に上乗せした事業展開が必要では。

【区 長】感染拡大防止に取り組む飲食店などに対し、国や都の施策と連携し、区独自の協力金を支給するため、本定例会に補正予算を追加上程した。

【質 問】区内在住の65歳以上の高齢者を対象に、区医師会などと連携し、もの忘れ検診を実施しては。

【区 長】3年度から後期高齢者医療健康診査において、もの忘れの項目を含む質問票に変更するため、区医師会と協議を進めている。

【質 問】養育費不払い支援や離婚時の手続き支援などの事業を、対象者を限定し実施することを求める。見解は。

【区 長】コロナ禍の影響による収入減や子育てに対する負担増などの現状を踏まえ、ひとり親家庭への臨時特別給付金の支給などを実施してい

る。今後もニーズを把握し、適切な支援につなげていく。

【質 問】区内の全児童・生徒に対し、コロナによる差別や偏見をもたないよう都教育委員会が作成した教材を使用し、特別授業を実施しては。

【教育長】都教育委員会が作成した教材について各学校に周知するとともに、2年8月には区独自の指導案を作成し、授業での活用を啓発している。今後も、各学校において感染症を正しく理解し、適切な行動がとれるよう指導していく。

【質 問】新型コロナウイルワクチンの予防接種の実施に際し、接種体制などの課題解決に向けた区の取組みは。

【区 長】接種体制については、区内5か所の集団接種と医療機関での個別接種を併用する方向で区医師会と協議を進めている。区民が希望する会場や医療機関で接種できるよう、ワクチンを円滑に配送するための検討も進めている。

魅力ある施設一体型の学校整備をめざして

【質 問】区内初の施設一体

中小企業への支援を求めて



吉田 豊明

(共産党)



【質 問】家賃に加え、地代やリース代などの固定費を含めた新たな助成事業の実施を。

【区 長】地代やリース代を含む家賃助成の実施予定はないが、飲食店などに対し、区独自の協礼金給付事業を行う。

コロナ禍における文化芸術活動への支援強化のために

【質 問】文化芸術活動に携

わる中小一貫校となる志村小と志村四中をどのような学校としていくのか。見解は。

【教育長】施設一体型の中小一貫校は、「つながりある義務教育」を実践する一つの施設形態と認識。固定観念にとらわれず、小・中学校が一体となる特色をいかした次世代の学校づくりに挑戦していく。

東武東上線のホームドア設置に向けた検討状況を問う

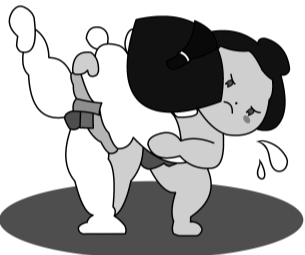
【質 問】早期設置に向けて、

区はどのように進めていくか。
【区 長】No.1実現プラン2025において、東武鉄道と設置に向けた協議に取り組みことを定めた。引き続き、早期整備をめざし協議を進める。

区内初の相撲部屋を問う

【質 問】前野町に移転してくる常盤山部屋所属の貴景勝関を板橋区スポーツ大使に任命するなどを検討しては。

【区 長】常盤山部屋との相談の中で、スポーツ大使制度の活用を含め、どのような関わりが可能か検討していく。



の猶予期間中に対応していく生活保護制度の利用促進を

【質 問】ポスター掲示やリーフレット配布により制度の積極的な利用を促す取組みを。

【区 長】ためらわず相談するように促すポスターを作成し、3年3月に掲示板で周知する。リーフレットも区民事務所などの施設に設置する。

国民健康保険料を問う

【質 問】保険料を値上げしないよう、特別区長会で意見を述べるべき。

【区 長】保険料は社会的状況に配慮しつつ、収支も勘案して決めることが重要である。適切な保険料となるよう、必要に応じて意見を述べる。

区立野球場のグラウンドゴルフ貸切り利用について問う

【質 問】高齢者の健康増進や介護予防、コミュニティづくりを求めて

【質 問】区の工事契約に際し、週休2日制を前提とした工期や賃金の保障が必要。建設業界と協議を行うべき。
【区 長】週休2日制の工事による工期と予定価格の設定は、改正労働基準法の趣旨を踏まえ、区内建設業界と協議を行いながら、5年度末まで



おばた 健太郎

(民主クラブ)



新型コロナワクチン接種の予約体制を問う

【質 問】集団接種とわかりつけ医による接種の速やかな情報連携のため、区全体で一括の予約システムとすべき。

【区 長】各医療機関と連携しながら、区民が利用しやすい予約体制を検討していく。

すべての小・中学校でコグニティブトレーニングの導入を

【質 問】認知機能にハンデイキップを負い、困難を抱えている児童・生徒への支援として、認知トレーニングで



小豆沢野球場で行われているグラウンドゴルフ

核兵器禁止条約を問う

【質 問】条約の発効の意義について、区長の見解は。

【区 長】我が国のアプロロチとは異なるが、核兵器廃絶に向け、一つの成果が示されたことにあると認識している。

核兵器禁止条約を問う

【質 問】条約の発効の意義について、区長の見解は。

【区 長】我が国のアプロロチとは異なるが、核兵器廃絶に向け、一つの成果が示されたことにあると認識している。

ワクチン接種の正確な情報を



五十嵐やす子

(市民)



【質 問】HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)の接種を積極的に勧奨していないことを明確に示すべき。

【区 長】ホームページで正しい情報発信に努める。

誰一人取り残さない支援を

【質 問】住居を失い、都が提供したホテルで生活保護を開始した方への支援策は。

【区 長】仕事の紹介や賃貸住宅の情報提供などにより、自立を支援している。

しいなひろみ

(無所属の会)



安全で便利な東武練馬駅を



【質 問】駅前通りの通行止めなどの規制の早急な実施を。

【区 長】3年度中の規制開始をめざしていく。

安全で便利な東武練馬駅を

【質 問】駅前通りの通行止めなどの規制の早急な実施を。

【区 長】3年度中の規制開始をめざしていく。

安全で便利な東武練馬駅を

【質 問】駅前通りの通行止めなどの規制の早急な実施を。



東武東上線 東武練馬駅北口

(8面に続く)



区ホームページでHPVワクチンの情報を発信

(7面から続く)

通所介護等の特例措置を問う

【質問】利用者の負担が増加しないよう区が助成すべき。



しのだつよし

(自民党)



実を図るとともに、にぎわいあふれる公園にしていく。

部活動指導員制度の導入を

【質問】区独自の補助員制度を構築し、支援しているが、部活動の充実やさらなる負担軽減のために、部活動指導員制度を導入すべき。

【教育長】3年度から区立中学校3校で、実技指導や各種大会へ顧問として単独で引率できる部活動指導員制度を試行実施する。試行を通して、制度の成果と課題を整理する。

避難行動要支援者への支援を

【質問】今後起こり得る首都直下地震や河川の氾濫などを見越して、避難行動要支援者をどのように支援するか。

【区長】車両による移動支援について区内事業者と協定を結び、体制強化を進めてきた。今後、地域団体などと連携を深め、実効的な支援策となる計画作成を検討する。

公園のブランド戦略を問う

【質問】子育て世代の区外流出を防ぐには公園整備が必要であると考え。若い世代の定住化を目的に、地元の意見を聞きながら、板橋交通公園のリニューアルをブランド戦略の一押し事業に加えては。

【区長】独自性・先駆性あふれる公園は区の魅力。区民の意見を聞き、防災機能の充



間中りんぺい

(自民党)



PCR検査に伴う出席停止の運用について問う

【質問】小・中学校などで保護者がPCR検査を受けた場合に、結果が出るまで子どもは出席停止となる。無症状だが自主的に検査を受ける場合にも、子どもが出席停止となる取扱いを見直すべき。

【教育長】現時点で、直ちに登校自粛のお願いを緩和できる状況にはないが、区内での発生状況などを確認し、運用の変更について検討していく。

ゲーム依存への注意喚起を

【質問】児童・生徒に対し、ゲームへの接し方を学校で今以上に注意して指導すべき。

【教育長】学校では、ゲームの利用時間や方法など適切な利用の仕方について、保護者への啓発とともに、児童・生徒へ指導している。保護者や校長会と連携しながら、適切な利用方法を検討していく。

すくすくカード事業の拡充を

【質問】すくすくカードを母子健康手帳と同時に渡すとともに、サービス提供事業者数を増やすなど、妊娠期から

に優れ、にぎわいに満ちたまちづくりに取り組む。

※以上のほか、各種健診の受診期間、耐震改修促進計画2025、スマートシティの実現、温暖化対策、女性活躍、区内事業者の活用、今後の観光振興の展開、休日の部活動、大山駅の東地区のまちづくりについて質問があった



東武東上線 大山駅

【区長】地域の意見を聞きながら、東地区の地区計画変更などの検討を進め、利便性

地域と関係構築を築き、子育てで

【区長】3年度から事業の対象を妊娠中から3歳未満までに拡充し、利便性の向上を図るとともに、ショートステイ事業などをメニューに加え、サービス拡充を図っていく。

【質問】「男性の産後うつ」に関する取組み状況と、父親へのケアや政策の検討について、現在の進捗は。

【区長】直接的な取組みは行っていないが、両親学級の参加者には相談窓口をお知らせしている。今後、父親への支援の実施にあたり、産後うつへの取組みも含めて、検討していく。

跡地活用検討の進捗を問う

【質問】志村小の土地に関する跡地活用の検討について今後の進め方は。

【教育長】地域の意見・要望をとりまとめる予定。その後、跡地活用の所管部署において、学校跡地活用基本方針に基づき検討が行われると考える。

性別による環境差の是正を

【質問】女性トイレにしかオムツ交換台がない民間施設があるが、性別による環境の差が生じないような取組みを。

【区長】性別に拘わらず、子育てしやすい設備を整えていくという意識啓発を継続的に行う。 ※以上のほか、ゼロ・ウェイストの取組み、地域課題について質問があった

議会トピックス

特別委員会が活動報告をまとめました 各特別委員会では2年にわたり、それぞれの課題について調査し、活動報告をまとめ、左記のとおり提言を行いました。

東武東上線連続立体化調査特別委員会

中板橋駅、上板橋駅間の連続立体化に向けた取り組みについては、中板橋駅を取り残さない一体的な立体化が必要。区の策定した交通政策基本計画に掲げる方針を基に、踏切や各駅固有の課題を踏まえ、都をはじめとした関係機関と協議すべき。 下板橋駅付近及び上板橋駅付近、成増駅付近については、立体化の検討対象区間ではないため、多角的な視点で、個別の踏切ごとの安全対策を検討すべき。 踏切の安全対策の推進に向けては、踏切の交通量や遮断時間などの現状確認を行ったうえで、歩行者が安全に通行できるように整備を行うべき。



災害対策調査特別委員会

災害に対する備えや災害に強いまちづくりについては、感染対策を講じ、防災訓練を実施できるような工夫している事例などを情報提供すべき。また、新しい生活様式を踏まえた訓練のあり方を検討すべき。 避難支援のあり方については、災害情報や避難方法など、障がい者や外国人などに対して情報が行き届くよう、適宜効果的な情報発信を行うべき。 避難所開設・運営のあり方については、避難所の開設から運営体制までのスキームを整理し、わかりやすく周知すべき。また、避難所は居住地域や災害の種類により異なるため、日ごろから周知すべき。



子ども家庭支援調査特別委員会

(仮称)子ども家庭総合支援センターの業務及び支援のあり方については、子育て機能の総合支援拠点となるべき。国内外の先進事例を参考に、子どもの権利条約に基づいた児童福祉をめざすべき。 子どもとその家庭を支援する既存事業については、「いたばし 子ども 夢つむぐプロジェクト」に関して、事業ごとの目標設定に加え、全体としてSDGsの理念に基づいた目標設定が必要である。 区が児童相談所を設置することで新たに担う業務については、区としての方向性を明確にし、実態に合うよう進めていくべき。

健康長寿社会調査特別委員会

元気高齢者の増加に向けては、ふれあい館などの施設の利用促進のため、多くの高齢者に利用されている地域センターなどの連携や、ホームページを見やすく改善するなどの周知活動を工夫すべき。 高齢者の社会参加・環境づくりについては、地域活動への参加や就労促進のため、SNSなどのプッシュ型の媒体を活用すべき。また、希望する活動へつなげるワンストップ相談窓口を設置すべき。 高齢者に住みよいまちづくりについては、関係機関とのきめ細やかな連携を行うことが必要。今後、より多くの機会と連携を図っていくべき。



令和3年第1回臨時会の開会予定	
4月23日(金)	告示、議会運営委員会(午前11時)
4月27日(火)	本会議、企画総務委員会

令和3年第2回臨時会の開会予定	
5月14日(金)	告示
5月20日(木)	議会運営委員会(午後1時)
5月21日(金)	本会議

令和3年第2回定例会の開会予定	
5月24日(月)	告示、議会運営委員会(午後1時)
6月1日(火)、2日(水)	本会議(一般質問)
6月4日(金)	企画総務・区民環境・健康福祉委員会
6月7日(月)	都市建設・文教児童委員会
6月10日(木)	議会運営委員会(午後1時)
6月11日(金)、14日(月)	特別委員会
6月16日(水)	議会運営委員会(午後1時)
6月17日(木)	本会議(表決)

- 会議は議会運営委員会を除き、原則として午前10時に開会予定です。開始時間が変更となる場合があります。
- 手話通訳は希望日の7日前、一時保育は希望日の10日前、ヒアリンググループ(磁気誘導ループ)の利用(委員会室のみ)は希望日の3日前(土日祝日を除く)までにお申し込みください。
- 審査を希望される請願・陳情につきましては、5月21日(金)午後3時までにご提出ください。
- 本会議の様子は、インターネットでライブ中継及び録画中継をしています。板橋区議会ホームページよりご覧ください。

お知らせ (議員の所属会派に変更がありました)

令和3年3月31日付で、五十嵐やす子議員は市民から社民党に、南雲由子議員と長瀬達也議員は市民から無所属議員になりました。

